

2022年度 文学部・人文学研究科の授業実施方針について

2022年2月10日 文学部・人文学研究科
文学研究科、国際言語文化研究科

「2022年度春学期の授業実施等に関する方針について（以下、「名古屋大学授業実施等方針」）」が決定されました。これに沿って2022年度の文学部・人文学研究科の授業実施方針も作成しましたので、この方針に沿って授業を履修し得てください。

なお、2022年2月7日現在の「教育（講義・演習と実験・実習）」のレベルは1です。レベルが変更となった場合や本方針に変更が加わった場合にはその都度お知らせいたします。授業の実施方法（対面授業、ICTを使った遠隔授業）も変更となる場合には、各授業のNUCT等により授業担当教員からお知らせします。

【文学部・人文学研究科 授業実施方針】

講義・演習、実験・実習の全ての授業について、感染症対策を実施した上で対面授業主体で実施します。（ただし、授業によっては遠隔で実施する場合があります。）

授業方法はシラバス「授業開講形態等」欄でお知らせしています。履修登録期間後に変更がある場合には各授業のNUCT等でお知らせします。

【感染症対策について】

- ・対面授業では3密（密閉、密集、密接）を回避、換気を行います。
- ・学生、教員共にマスク着用、手洗い、手指消毒の対策をとってください。
- ・フェイスシールドは以下の場合に着用を推奨します。授業担当教員からの指示に従ってください。
 - (1) 密接・密集が避けられない実験・実習、隣の人と十分な距離をとれない多くの発話を伴うグループディスカッション・語学授業では、教員・学生ともに、マスク着用に加えて、フェイスシールドの着用を強く推奨。
 - (2) その他の授業等でも、1m程度の距離を常に確保できない場合は、濃厚接触者になることを避けるためにも、着用を推奨。

【座席番号について】

- ・座席番号が貼ってある講義室では、授業の際に座席番号を控えておいてください。

【事情により登校できない学生、渡日できない学生への対応】

- ・対面で授業を実施する場合においても、NUCTに授業資料をアップする、対面授業と遠隔授業との併用で実施するなど、不利益とならないよう各授業で教育上の配慮がされます。該当する場合には授業担当教員に相談してください。

【ICTを使った遠隔授業の実施・学生への連絡ツール】

- ・原則として、遠隔授業（オンデマンド型）はNUCTにより提供されますが、指示があればそれに沿って受講してください。
- ・対面中心の授業であっても、授業担当教員からの連絡手段としてNUCTが活用されることが多くあります。
- ・遠隔授業（同時双方向型）では、原則として、Teams を用いて実施される予定です。

【文学部・人文学研究科の学内アクセスポイントについて】

- ・常設のアクセスポイントは設けませんが、文学部棟及び文系共同館の講義室については、空いている場合にはアクセスポイントとして使用可能です。昼食場所としても提供します。

【特に遠隔授業（オンデマンド型）における学生・教員間のコミュニケーションの機会について】

- ・遠隔授業（オンデマンド型）では、各授業で学生・教員のコミュニケーションの機会が設けられます。詳しくは授業担当教員からNUCT等を通じてお知らせします。
- ・少しでも困ったことや伝えたいことがあれば、授業担当教員に遠慮なくお知らせください。